



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

1963年3月23日創立 週報2434号

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

第 2481 回例会

12月 は 家族 月間

平成25年 12月 4日

● 例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館7階 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
● 事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3番1号 山形屋1号館9階 ☎ 223-5902・FAX 223-7507

会長 長柄 英男
幹事 坂木 貞剛
会報委員長 上之園正幸

本日の主要
プログラム

- 有村ガバナー補佐訪問
- クラブフォーラム(親睦・出席)

- (1) 国歌斉唱・ロータリーソング(奉仕の理想)
- (2) 会長あいさつ
- (3) 会務報告
- (4) 出席報告
- (5) ニコニコBOX披露

会長挨拶 長柄 英男 ポリオ撲滅とロータリー

ポリオは急性灰白髄炎 poliomyelitis のことでウイルスによる感染性の病気です。ポリオのウイルスに感染すると初めの数日間は胃腸炎のような症状です。感染した人の1%以下の確率で脊髄の灰白質に炎症を起こし左右非対称の弛緩性の運動麻痺が現れます。時に横隔膜や延髄も侵されることがあり呼吸麻痺となって死亡することもあります。大人も感染しますが麻痺を生じるのは子どもが多く小児麻痺とも呼ばれます。脳が冒されることは稀で知的障害は伴わないのが普通である。

日本では1961年から不活化ワクチンの定期接種が行われ、1980年を最後に麻痺性ポリオの発生は見られていない。

現在も野生ポリオによる感染が続いているのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3か国のみとなっています。2012年に発表されたポリオの発生件数は250件を下まわっており、毎日1000件の発生を見ていた1980年に比べると99%の減少となっています。この勢いを保ちポリオを撲滅しなければ、今後40年間にポリオの発生数は1000万件に跳ね上がると予想されています。

ロータリーは1979年のフィリピンにおける免疫接種活動を皮切りにポリオの撲滅に取り組んできました。そして1985年、世界からポリオを撲滅するために「ポリオプラス」を開始しました。プラスは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核を意味します。ロータリーはこれまで1200億ドル以上をポリオ撲滅に投入し、122ヵ国20億人以上の子どもに予防

接種するために活動を続けて来ています。また政府や民間団体への働きかけ(アドボカシー活動)を続け、各国政府から90億ドル以上の資金援助を確保する上で重要な役割を果たして来ました。

1988年に発足した世界ポリオ撲滅推進計画GPEIは、ロータリー、世界保健機構WHO、ユニセフ、米国疾病対策センター、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団、各国政府を含む官民共同の取り組みです。ロータリーは主にアドボカシー活動、募金、ボランティア集め、認識向上に重要な役割を果たしています。



◇前回の例会(11月27日)の報告

会 員 数	77 (71) 名
出 席 数	46 名
出 席 率	64.79 %

◇前々回の例会(11月13日)の訂正

出 席 率	50.70 %
訂正出席数	60 名
訂正出席率	84.51 %

「西ロータリークラブと私」(報告)

会員 竹下 威君

私は、11月27日の例会で、プログラム委員長の企画した“西ロータリークラブの温故知新”のテーマに従い、歴代会長の一人として標記のとおり卓話を致しました。その内容は、先輩が残された「感動と出会い」の言葉を柱として、昭和62年(1987年)4月の当クラブとの出会い、それから26年間に感動的に出会った会員のこと、催されたイベントを通じて出会ったことなどを時の経過を追いつつアトラダムに話を進めました。従って勢い、私の個人的な思い出や回想に亘る事柄が中心になり、内容は専ら“温故”の部分に留まった感があり、内心、忸怩たるものがありますが、聊かでもお役にたてればと思っっている次第です。ただ、与えられた時間を全く度外視して話を進めたため、多くの積み残しを生じましたが、そのうち一つだけ紹介させていただきます。それは、当クラブが企画して開催した「生と死を考える」というシンポジウムです。平成元年(1989年)12月9日、三角会長、古木幹事の年度に市民文化ホールで行われました。24年前になります。

「先端技術が置き忘れた生と死」を評論家の田原総一朗さんが、「医学ないし生命倫理の観点から見た生と死」を当時の鹿児島大学学長の井形昭広さんが、「仏教から見た生と死」を元高野山大学学長の松長有慶さんが、それぞれテーマとして提唱され、作家の大野芳さんをコーディネーターとして催されました。黒澤明監督の映画「生きる」を思い出しながら拝聴したことを思い出します。それから四半世紀を経た今日でも、この問題は広く論じられているところですが、当時、社会奉仕委員会の企画を先駆的立場で取り上げられ、真剣に考える機会をつくられたことに敬意を表したいと思います。「人は生を受けた以上、平等に死を迎える。最後はクオリティ・オブ・デス(死の尊厳)を大事にしたいのである。」との“提言”の結びの部分引用して、この項を結ばさせていただきます。

次週予告 12月11日(水) 12:30～ 山形屋
年次総会

〈プログラム〉

「西ロータリークラブと私」 会員 竹下 威君

〈ビジター〉 鹿児島RC 錦織 信貴君

〈11月在籍表彰〉

43年 古木 圭介君 36年 太原 春雄君
20年 長柄 英男君 1年 川村 保夫君

〈会務報告〉

- 12月のロータリーレートは1ドル100円です。年内寄付を予定している場合は12月11日(水)までに事務局をお願いします。
- 先日開催されました地区大会記念講演・フォーラム代表者発表収録DVDが届いております。ご希望の方には貸し出しします。
- 例会終了後、臨時理事会を開きます。



鶴田 司君

家内の誕生日に花束をいただきました。私はすっかり忘れておりましたが、おかげさまで機嫌良く家に入れてもらえました。ありがとうございました。

南 徹君

去る11月14日に鹿児島市の姉妹都市である西オーストラリア州パース市市長を表敬訪問し、続いて、カリンヤップロータリークラブの例会に出席しました。iBS外語学院研修生19名各自が、各々に異なる日本文化論文を英語で紹介し、最後に“ふるさと”を合唱しました。英訳されたふるさとの歌に深く感動され涙する市長や総領事諸氏のお顔に、改めて古き良き時代の美しい日本は、国境を越えて世界の人々の胸を打つのだと深い感銘を覚えましたのでニコニコいたします。ちなみに3日後の30日には残してきた学院生を迎えに、再度、オーストラリアに飛びます。

川村 保夫君

おかげさまで入会して1年たちました。これからニコニコしてがんばります。

長柄 英男君、坂木 貞剛君

いつも高い見識で忌憚のない意見をいただいております竹下威元会長の卓話にニコニコします。

小計 10,000円 累計 215,000円

市内RC例会プログラム

東RC 12月5日(木) 忘年家族会のため18:30～ 山形屋
サンディーズインに変更
北RC 12月5日(木) 年次総会 レンブラト
ガバナー補佐訪問 鹿児島
サザンインド RC 12月5日(木) 年次総会 東急イン
鹿RC 12月6日(金) ロータリー財団委員会の話 山形屋

中央RC 12月 9日(月) ガバナー補佐訪問 山形屋
東南RC 12月10日(火) 会長・幹事 半期を終えて サンロイヤル
城西RC 12月10日(火) 年次総会 東急イン
南RC 12月11日(水) ガバナー補佐訪問 サンロイヤル
年次総会
西南RC 12月11日(水) クリスマス家族会のため ゆうづき
19:00～ マナーハウス
島津重富荘に変更